

# 活動プロB-7（自然ふれあい活動） ウォークラリー

ウォークラリーは、道路の交差点や分岐点での進路方向を示す連続コマ地図を頼りに、仲間と力を合わせながら方向を定め、途中でいろいろな課題を解決しながら自然の中に設定されたコースを一周する活動です。



## 1. 活動場所、所要時間

A（名勝コース）	約4 km	約2時間30分
B（田園コース）	約4 km	約2時間30分

## 2. 準備

### (1) 準備物

自然の家	バインダー、ゼッケン、無線機（引率者用）、 コースマップ、チェックカードなど
個人・団体	帽子、タオル、水筒、雨具など

(2) 引率者役割・・・本部：スタート・ゴール（1～2名）・・・全体指揮、記録など  
パトロール（1～2名）・・・・・・コースの巡回、安全確保など

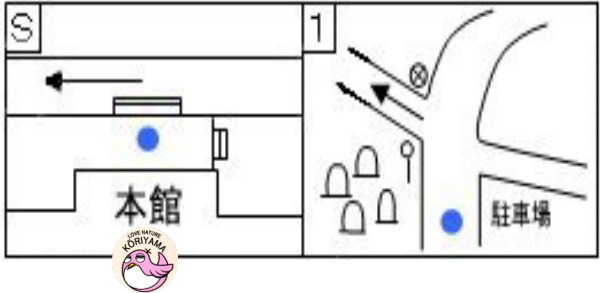
(3) 班編成・・・1グループ男女混合の3～6名程度が望ましい。

## 3. 実施方法

### (1) オリエンテーション（玄関前）

【グループ編成 ・ コマ地図（記号）  
の見方 ・ ラリーの手法 ・ 留意点】

○●印は、自分が立っている位置を示し、←印は、進行方向を示す。



○進行方向を決めるには、分岐点の直前  
＜コマ地図＞で立ち止まり、コマ地図のタイトルを上にし、●印を腹部にあて↑印の方向を見つける。

○ある地点が、コマ地図で示す位置であるか否かは、その地形とコマ地図上の記号とをよく照合し判断する。

### (2) ラリーの手法

- スタートは2分～5分の時差スタートとする。
- 分岐点にさしかかっても、コマ地図で指示がない場合は必ず直進する。
- 分岐点では、コマ地図をよく見て進行方向を決める。
- コマ地図上に示す目安となる目標物を見落とさない。
- 道に迷った時は、正しいと思う地点まで引き返す。
- 班員が全員そろってゴールインする。

## 4. 実施上の留意点

- (1) 事前・事後の健康管理に十分留意する。車道では、自動車に気をつけるとともに、右側通行を徹底する。
- (2) 班員は必ずまとまって行動し、単独行動をとらないようにする。